

「業務及び財産の状況について」 骨子

1. 与信業務

当組合の与信業務については、主要営業地域である神奈川県内の青果業、青果商業組合を中心とし中小零細企業者や個人への融資が多くを占めている。

<貸出残高推移> 店舗数：4支店1出張所 計5ヶ店 (単位：百万円、%)

	10年3月末		11年3月末		12年3月末		13年3月末		(参考) 業界平均 (12年3月期)	
		構成比		構成比		構成比		構成比		構成比
貸出金残高	10,200	100.00	10,495	100.00	10,112	100.00	9,428	100.00	51,940	100.00
うち中小企業	8,779	86.07	9,079	86.51	8,811	87.13	8,202	87.00	43,694	84.13
うち個人	1,421	13.93	1,416	13.49	1,301	12.87	1,226	13.00	8,239	15.86
うちその他	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0.01

※「その他」には、地方公共団体が含まれる

2. 預金業務

当組合の預金業務では個人預金の構成比が高く、主に青果商やその家族、従業員、知人への活動により維持されてきた。

<預金残高推移> 店舗数：4支店1出張所 計5ヶ店 (単位：百万円、%)

	11年3月末		12年3月末		13年3月末		(参考) 業界平均 (12年3月末)	
		構成比		構成比		構成比		構成比
預金残高	13,975	100.0	13,627	100.0	10,683	100.0	65,382	100.0
うち個人預金	9,791	70.1	9,530	69.9	7,343	68.7	52,077	79.6
うち法人預金	4,169	29.8	4,082	30.0	3,331	31.2	11,672	17.9
うちその他	13	0.1	14	0.1	8	0.1	1,632	2.5

※「その他」には公金預金、金融機関預金が含まれる。

### 3. 投資等業務

投資有価証券については、債券主体の運用を行ってきたが、破綻公表後、期日到来分については満期償還を受け、債券償還損13百万円を計上した。なお、その他に計上した投資信託については193百万円、外国証券については103百万円の含み損が発生している。

#### <投資有価証券残高推移>

(単位：百万円)

	平成11年3月末	平成12年3月末	平成13年3月末	平成13年3月末の評価損益
投資有価証券	2,189	1,811	1,507	△302
国債・地方債	11	20	30	-
社債	186	146	136	△7
株式	-	-	-	-
その他	1,992	1,645	1,339	△296
貸付有価証券	-	-	-	-

### 4. 固定資産の状況

所有する土地、建物等はありません。計上した固定資産はすべて借用事務所（店舗）の造作、付帯設備の総件数である。

#### <固定資産の状況>

(単位：百万円)

	土 地				建 物		
	件数	簿価 取得価格	評価額	含み損益	件数	簿価 取得価格	簿価 償却後
事業用 不動産	0	0	0	0	67	11	10
所有 不動産	0	0	0	0	0	0	0

5. 不良債権の状況

不良債権は以下のとおり。

<リスク管理債権の状況>

(単位:百万円、%)

区 分	1 2 年 3 月 期		1 3 年 3 月 期		(参考) 業界平均(13年3月期)	
	貸出金 残高	貸出金 に占め る割合	貸出金 残高	貸出金 に占め る割合	貸出金 残高	貸出金 に占め る割合
破綻先債権	308	3.0	419	4.4	1,163	2.3
延滞債権	443	4.4	1,322	14.0	4,402	8.8
3ヵ月以上延滞債権	157	1.6	46	0.5	195	0.4
貸出条件緩和債権	677	6.7	332	3.5	2,239	4.4
合 計	1,586	15.7	2,121	22.5	7,999	15.9

<金融再生法の開示債権>

(単位:百万円、%)

区 分	平成13年3月期		(参考) 業界平均(13年3月期)	
	金額	債権の占める割合	金額	債権の占める割合
破綻更正債権等	830	8.7	3,311	6.3
危険債権	955	10.1	2,510	4.7
要管理債権	380	3.5	2,382	4.5
正常債権	7,320	77.7	44,817	84.5
合 計	9,487	100.00	53,020	100.00